

2023年3月期 第2四半期
決算説明資料

2022年 11月 9日
株式会社クレハ

当資料のポイント (2)

I. 2023年3月期 第2四半期業績

- ・ 概要 (4) ~ (6)
- ・ セグメント別実績 (7) ~ (11)
- ・ キャッシュフロー (12)
- ・ 財政状態計算書 (13)

II. 2023年3月期 業績予想

- ・ 概要 (15) ~ (17)
- ・ セグメント別予想 (18) ~ (22)
- ・ キャッシュフロー (23)
- ・ 主要指標予想 (24) ~ (25)

III. 添付資料

- ・ PVDF事業について (27)
- ・ PGA事業について (28)
- ・ 株主還元に関する考え方 (29)
- ・ 連結対象会社の概要 (30) ~ (31)

- 連結業績** 原燃料高騰や経費増の影響を吸収し、増収・増益の見通し
 営業利益 上期実績 167億円（前年同期比+47%、前回（8月9日）予想比+29%）
 通期予想 270億円（前年同期比+34%、当初予想比 +23%）

□ 上期の事業環境

- ・いわき事業所自家発電で使用する石炭、各種の化学製品（ナフサ、ベンゼン、VCモノマー等）が高騰。
- ・世界的にインフレが拡大し、金融政策の方向性の違いと経常収支の悪化により大幅な円安が進行。
- ・半導体不足による世界的な自動車生産停滞はあったものの電動車市場の拡大が持続。
- ・穀物価格の上昇は、農家の生産拡大に向けた意欲を高め、農薬需要が拡大。
- ・当初予想に織り込んだ、ロックダウンによる中国PVDF工場の休止等のリスクは限定的。

□ 当初（5月12日公表）通期業績予想で想定した主要なリスク

当初通期予想に織り込んだ主要なリスク		上期	下期
石炭その他の原燃料価格の高止まり		機能製品・化学製品で価格改定を実施 期首在庫と円安が影響を緩和	樹脂製品も10月より価格改定し 主要製品は影響を概ね転嫁 競争力の弱い事業では採算悪化
中国コロナ禍による機能製品事業への影響		上海・炭素繊維工場が休業 するも業績への影響は軽微	リスクが継続
（ウクライナ情勢、エネルギー不足等による） 欧州の電動車・電池市場の拡大鈍化		電動車市場の拡大は持続	インフレと景気後退による一時的な成長鈍化を予想
物流費や樹脂製品（購入品）コスト増		各事業で価格改定に反映	

1. 2023年3月期 第2四半期業績

2023年3月期 第2四半期決算の概要（1）

株式会社クレハ

（単位：億円）

	2022/3 2Q	2023/3 2Q	増減額 (率)	1Q時 2Q予想	増減額 (率)
売上収益	791	1,018	227 (28.7%)	1,000	18 (1.8%)
セグメント別 営業利益計	111	166	55 (49.0%)	133	33 (24.6%)
営業利益	114	167	54 (47.3%)	130	37 (28.7%)
税引前 四半期利益	115	174	59 (51.8%)	135	39 (28.7%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	83	122	39 (46.4%)	95	27 (28.3%)
基本的1株当たり 四半期利益（円/株）	426.73	624.60		486.74	
為替レート（円/\$）	109.8	134.0		131.0	
（円/€）	130.9	138.8		141.0	
（円/元）	17.0	19.9		19.0	

< 前年同期比での主な差異要因 >

〔売上収益〕

リチウムイオン電池バインダー（LiB）向けPVDFを中心に機能樹脂の拡大、農薬の前倒し出荷などがあり、増収。

〔営業利益〕

売上収益の増加により機能樹脂、農薬を中心に増益。

< 1Q時予想比での主な営業利益差異要因 >

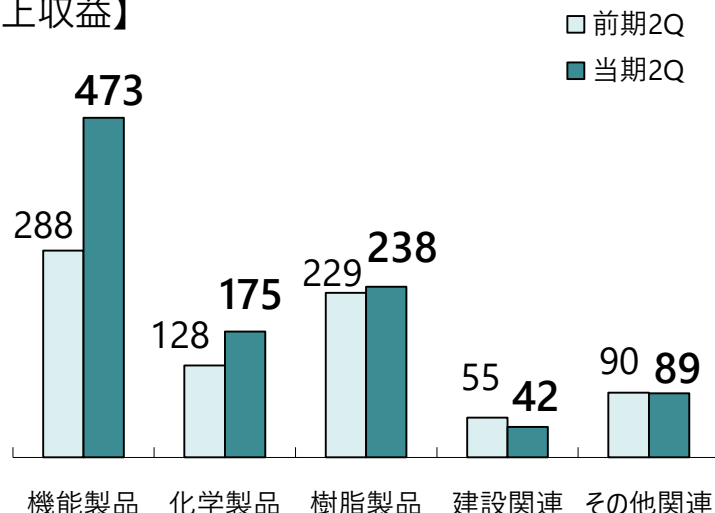
機能樹脂、農薬、家庭用品等が伸長し、上振れ。

KUREHA

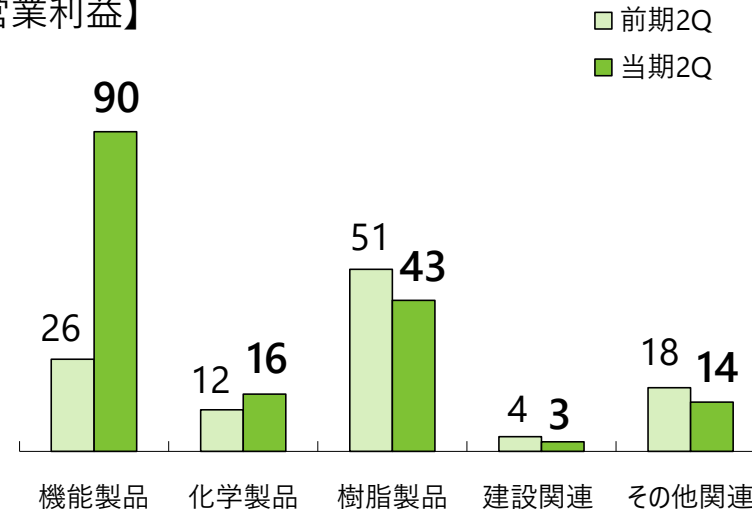
(単位：億円)

<セグメント別 第2四半期 前年同期比較>

【売上収益】



【営業利益】



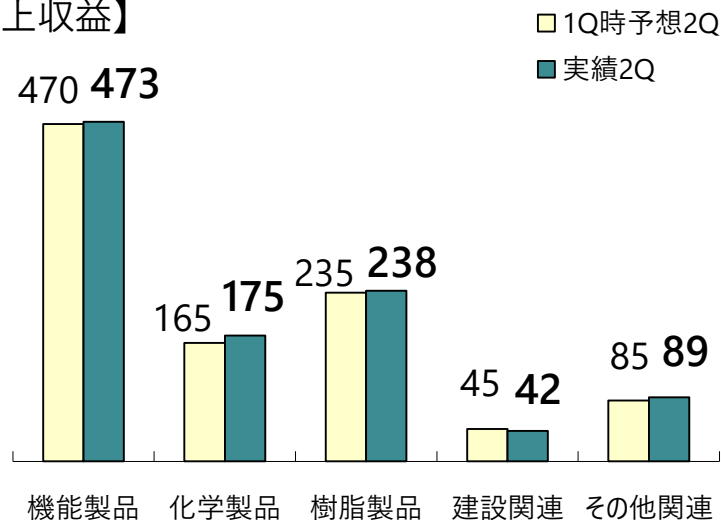
<セグメント別 営業利益の主な増減要因>

- 〔機能製品〕 機能樹脂、炭素製品、その他の樹脂加工品など、全般的に増収となり、PVDFを中心に機能樹脂、炭素製品、その他の樹脂加工品が貢献し、増益。
- 〔化学製品〕 農薬、工業薬品が増収、農薬を中心に増益。
- 〔樹脂製品〕 業務用包材の売上が拡大するも家庭用品が減少し、合わせて減益。
- 〔建設関連〕 公共工事は前年同期並みとなるも民間工事の減少により、減益。
- 〔その他関連〕 低濃度PCB廃棄物等の産業廃棄物処理の減少により、減益。

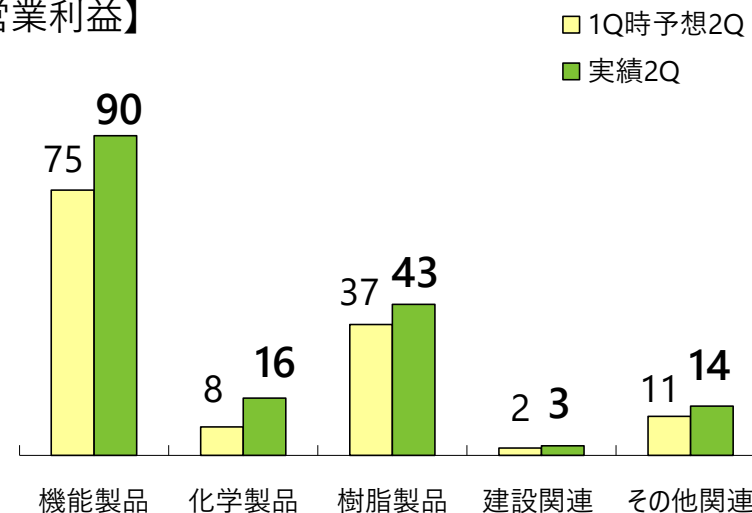
<セグメント別 1Q時予想比較>

(単位：億円)

【売上収益】



【営業利益】



<セグメント別 営業利益の主な増減要因>

- 〔機能製品〕 PVDFの上振れ、PGAの損失縮小等により、上振れ。
- 〔化学製品〕 農薬出荷の前倒しがあり、上振れ。
- 〔樹脂製品〕 家庭用品、塩化ビニリデン・フィルムの販売増加により、上振れ。
- 〔建設関連〕 工事の構成比等により、上振れ。
- 〔その他関連〕 産業廃棄物処理の好調により、上振れ。

【機能製品】セグメント別 連結業績

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2022年 3月期 2Q	2023年 3月期 2Q	増減 (率)
機能樹脂	194	365	171 (88%)
炭素製品	31	35	4 (12%)
その他	63	73	10 (16%)
売上収益	288	473	185 (64%)
営業利益	26	90	64 (247%)

[1Q時予想：売上収益 470億円 営業利益 75億円]

<前年同期比> 売上↑ 営業利益↑

機能樹脂

車載用LiBバインダー向けPVDFを中心に、PPS、PGA樹脂加工品の売上也拡大し増収、PVDFが貢献し、増益。

炭素製品

シリコンインゴット製造炉等の高温炉用断熱材向け炭素繊維の売上が増加し、増収・増益。

<1Q時予想比> 売上→ 営業利益↑

売上は概ね想定どおり。PVDFの特殊ポリマー構成比増加、PGAの損失縮小等により、利益上振れ。

KUREHA

【化学製品】セグメント別 連結業績

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2022年 3月期 2Q	2023年 3月期 2Q	増減 (率)
農薬	33	66	33 (101%)
医薬品	23	20	-3 (-12%)
工業薬品	36	47	10 (29%)
その他	36	42	6 (17%)
売上収益	128	175	47 (37%)
営業利益	12	16	4 (38%)

[1Q時予想：売上収益 165億円 営業利益 8億円]

<前年同期比> 売上↑ 営業利益↑

農薬・医薬品

慢性腎不全用剤の売上は減少したものの、農薬の売上が増加し、合わせて増収・増益。

工業薬品

無機・有機薬品の売上が拡大し、増収。原燃料高騰の影響により、前年同期の営業利益から営業損失。

<1Q時予想比> 売上↑ 営業利益↑

農薬は出荷前倒しがあり、売上・利益ともに上振れ。医薬品、工業薬品は概ね想定どおり。

KUREHA

【樹脂製品】セグメント別 連結業績

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2022年 3月期 2Q	2023年 3月期 2Q	増減 (率)
家庭用品	121	118	-3 (-3%)
釣糸	23	24	2 (7%)
業務用包材	65	74	10 (15%)
その他	21	22	0 (2%)
売上収益	229	238	8 (4%)
営業利益	51	43	-9 (-17%)

[1Q時予想：売上収益 235億円 営業利益 37億円]

<前年同期比> 売上 ↑ 営業利益 ↓

家庭用品・釣糸

レジャー用釣糸の売上は増加したものの、家庭用ラップの売上が減少したことおよび原燃料高騰の影響により、減収・減益。

業務用包材

熱収縮多層フィルムおよび塩化ビニリデン・フィルムの売上が増加し、増収・増益。

<1Q時予想比> 売上 → 営業利益 ↑

家庭用品はコロナ禍回復による市場縮小が想定より小さく上振れ、釣糸は市場全体が低調で下振れ。業務用包材は、東南アジアでの塩化ビニリデン・フィルムの販売が予想を上回り、上振れ。

KUREHA

【建設関連】セグメント別 連結業績

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2022年 3月期 2Q	2023年 3月期 2Q	増減 (率)
建設関連事業	90	86	-4 (-4%)
連結売上消去	-35	-44	-9 -
売上収益	55	42	-13 (-23%)
営業利益	4	3	-1 (-36%)

[1Q時予想：売上収益 45億円 営業利益 2億円]

<前年同期比> 売上↓ 営業利益↓

公共工事は前年同期並みとなったものの、民間工事の減少により、減収・減益。

<1Q時予想比> 売上↓ 営業利益↑

工事物件の構成により、減収・増益。

【その他関連】セグメント別 連結業績

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2022年 3月期 2Q	2023年 3月期 2Q	増減 (率)
環境事業	66	63	-3 (-5%)
運送事業	41	41	-0 (-0%)
病院事業	20	21	1 (5%)
その他	12	12	-0 (-2%)
連結売上消去	-49	-47	2 -
売上収益	90	89	-1 (-1%)
営業利益	18	14	-4 (-23%)

<前年同期比> 売上➡ 営業利益↓

環境事業は、低濃度PCB廃棄物等の産業廃棄物処理および処分が減少し、減収・減益。

運送事業は売上・利益ともに前年同期並み。

病院事業は売上・利益ともに前年同期並み。

<1Q時予想比> 売上↑ 営業利益↑

環境事業の通常廃棄物、医療廃棄物の処理単価上昇等により、利益上振れ。

[1Q時予想：売上収益 85億円 営業利益 11億円]

KUREHA

(単位:億円)

	2022年 3月期 2Q	2023年 3月期 2Q	増減
税引前四半期利益	115	174	59
減価償却費および償却費	58	57	-1
その他	-38	-144	※ -106
営業キャッシュフロー	135	87	-49
投資キャッシュフロー	-48	-49	-1
フリーキャッシュフロー	87	38	-49
財務キャッシュフロー	-45	-68	-23
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	15	14
現金及び現金同等物の増減額	43	-15	-58
現金及び現金同等物の期首残高	178	306	128
現金及び現金同等物の期末残高	221	291	70

※…売上収益の増加に伴い、
営業債権・棚卸資産が増加

1. 資産の部

	2022年 3月末	2022年 9月末	増減
現金・現金同等物	306	291	-15
営業・その他債権	358	415	57
棚卸資産	417	468	51
その他流動資産	43	46	3
流動資産計	1,124	1,220	96
有形固定資産	1,144	1,186	42
無形固定資産	40	44	4
投資等	517	507	-10
非流動資産計	1,702	1,738	36
資産合計	2,826	2,958	131

2. 負債・資本の部

(単位：億円)

	2022年 3月末	2022年 9月末	増減
営業・その他債務	295	292	-3
有利子負債	285	264	-21
引当金	82	79	-3
その他負債	157	177	20
負債計	819	811	-8
資本金	182	182	-
資本剰余金	147	147	-
自己株式	-87	-87	0
利益剰余金	1,660	1,752	92
その他の資本	90	137	47
非支配株主持分	15	15	0
資本計	2,007	2,146	139
負債・資本合計	2,826	2,958	131

II. 2023年3月期 業績予想

2023年3月期 業績予想 概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2022/3 実績	2023/3 今回予想	増減額 (率)	2023/3 当初予想	増減額 (率)
売上収益	1,683	1,900	217 (12.9%)	1,800	100 (5.6%)
セグメント別 営業利益	253	270	17 (6.7%)	230	40 (17.4%)
営業利益	201	270	69 (34.0%)	220	50 (22.7%)
税引前利益	204	280	76 (37.3%)	220	60 (27.3%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	142	200	58 (41.2%)	160	40 (25.0%)
基本的1株当たり 当期利益 (円/株)	725.73	1024.72		819.79	

< 前期比での主な差異要因 >

〔売上収益〕

増収：機能製品、化学製品、樹脂製品
減収：建設関連、その他関連

〔セグメント別営業利益計〕

増益：機能製品、化学製品
減益：樹脂製品、建設関連、その他関連

< 当初予想比での主な差異要因 >

PVDF、農薬、樹脂製品を中心に売上が拡大し、売上・利益ともに上振れ。

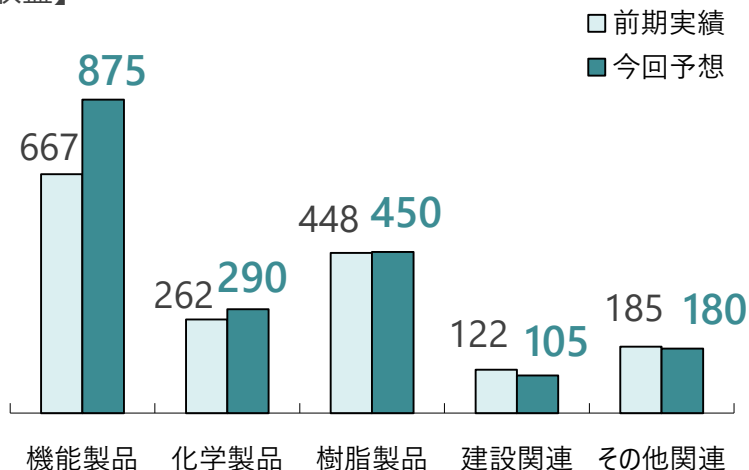
為替レート	2022/3	2023/3	為替感応度		
	通期実績	当初予想	上期実績	下期予想	
(円/ドル)	112.4	120.0	134.0	135.0	1ドル 1円の円安で、営業利益 0.2億円プラス/半期
(円/ユーロ)	130.5	132.0	138.8	135.0	1ユーロ1円の円安で、営業利益 0.2億円プラス/半期
(円/元)	17.5	18.5	19.9	19.5	1元 1円の円安で、営業利益 0.7億円プラス/半期

KUREHA

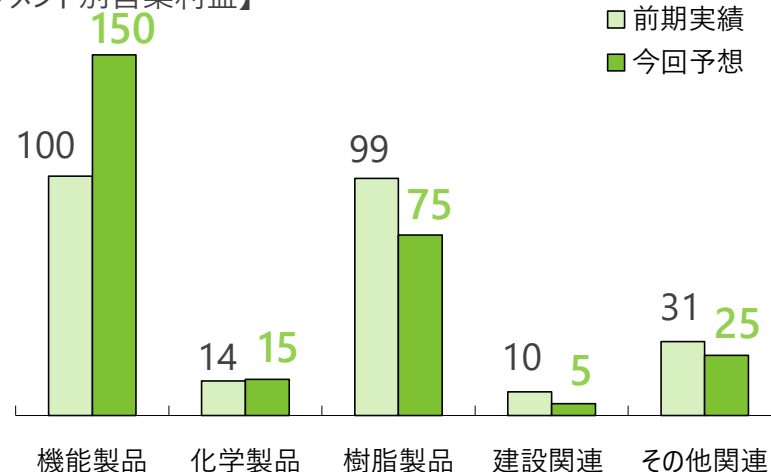
(単位：億円)

<セグメント別 前期比較>

【売上収益】



【セグメント別営業利益】



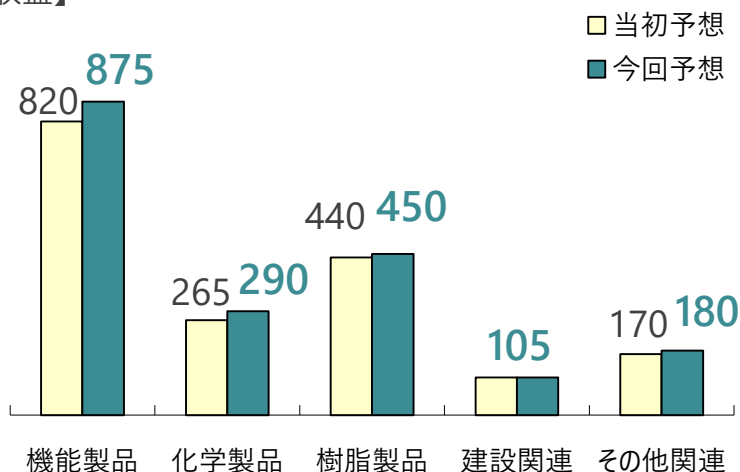
<セグメント別営業利益の主な変動ポイント>

- 〔機能製品〕 車載用LiBバインダー向けPVDF、高温炉用断熱材向け炭素繊維などが貢献し、増益。
- 〔化学製品〕 農薬の販売拡大、工業薬品の価格改定があり、増益。
- 〔樹脂製品〕 業務用包材の売上が拡大するも家庭用品が減少し、合わせて減益。
- 〔建設関連〕 工事物件の構成の変化、競争の激化により、減益。
- 〔その他関連〕 低濃度PCB廃棄物等の産業廃棄物処理の減少により、減益。

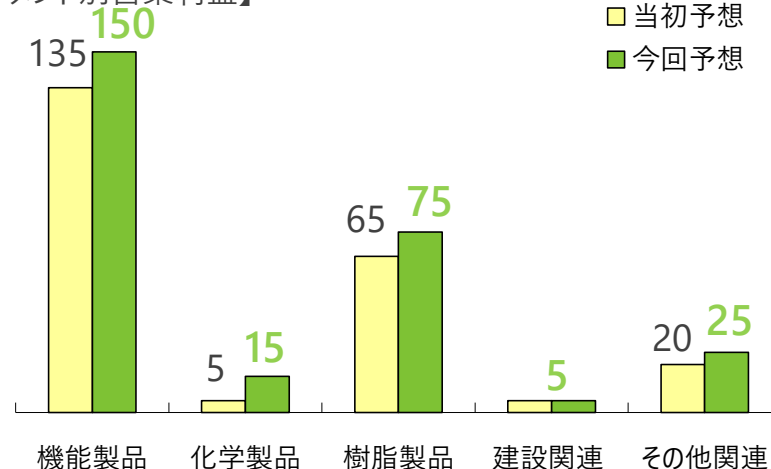
(単位：億円)

<セグメント別 当初予想比較>

【売上収益】



【セグメント別営業利益】



<セグメント別営業利益の主な変動ポイント>

- 〔機能製品〕 昨年度に続きPGA樹脂の生産を中止する影響があるも、PVDFの販売拡大があり、上振れ。
- 〔化学製品〕 農薬の販売拡大などにより、上振れ。
- 〔樹脂製品〕 家庭用ラップと業務用包材は販売が拡大し、上振れ。
- 〔建設関連〕 当初予想どおり。
- 〔その他関連〕 産業廃棄物処理の好調により、上振れ。

【機能製品】セグメント別業績予想

(単位：億円)

	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 予想	増減 (率)
機能樹脂	478	670	192 (40%)
炭素製品	59	65	6 (10%)
その他	130	140	10 (7%)
売上収益	667	875	208 (31%)
営業利益	100	150	50 (51%)

[当初予想：売上収益 820億円 営業利益135億円]

< 前期比 > 売上 ↑ 営業利益 ↑

機能樹脂

車載用LiBバインダー向けPVDFの販売拡大、PPSの価格転嫁などにより、増収・増益。

炭素製品

高温炉断熱材向けの炭素繊維が拡大、為替や価格改定の影響もあり、増収・増益。

< 当初予想比 > 売上 ↑ 営業利益 ↑

・昨年度に続きPGA樹脂の生産を中止する影響はあるものの、当初予想したリスクが限定的であったPVDF、炭素製品等の販売拡大により、上振れ。

【化学製品】セグメント別業績予想

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 予想	増減 (率)
農薬	71	90	19 (28%)
医薬品	42	35	-7 (-17%)
工業薬品	74	90	16 (21%)
その他	75	75	0 (0%)
売上収益	262	290	28 (11%)
営業利益	14	15	1 (5%)

[当初予想：売上収益 265億円 営業利益 5億円]

<前期比> 売上 ↑ 営業利益 →

農薬・医薬品

慢性腎不全用剤の薬価改定（価格低下）があるも、農薬の価格改定（値上げ）や為替の影響により、増収。原燃料高騰などの影響により、減益。

工業薬品

無機・有機薬品の価格改定等により、増収・増益。

<当初予想比> 売上 ↑ 営業利益 ↑

・農薬の販売拡大、原燃料高騰分の価格転嫁などがあり、売上・利益ともに上振れ。

KUREHA

【樹脂製品】セグメント別業績予想

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 予想	増減 (率)
家庭用品	232	225	-7 (-3%)
釣糸	46	45	-1 (-1%)
業務用包材	130	145	15 (11%)
その他	40	35	-5 (-12%)
売上収益	448	450	2 (1%)
営業利益	99	75	-24 (-24%)

[当初予想：売上収益 440億円 営業利益 65億円]

< 前期比 > 売上 → 営業利益 ↓

家庭用品・釣糸

家庭用ラップは10月出荷分より原燃料高騰分の価格改定を行うも、数量の減少があり、合わせて減収・減益。

釣り糸は市場低迷により減収・減益。

業務用包材

東南アジア向けの塩化ビニリデン・フィルムが好調となり増収、原燃料高騰等があり、利益前期並み。

< 当初予想比 > 売上 ↑ 営業利益 ↑

・塩化ビニリデン・フィルムの好調、経費削減等により、利益上振れ。

KUREHA

【建設関連】セグメント別業績予想

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 予想	増減 (率)
建設関連事業	202	208	6 (3%)
連結売上消去	-80	-103	-22 -
売上収益	122	105	-17 (-14%)
営業利益	10	5	-5 (-49%)

[当初予想：売上収益 105億円 営業利益 5億円]

<前期比> 売上↓ 営業利益↓

建設事業は、工事物件の構成変化により、減収・減益。

<当初予想比> 売上→ 営業利益→

・当初予想どおり。

【その他関連】セグメント別業績予想

(単位：億円)

	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 予想	増減 (率)
環境事業	134	129	-6 (-4%)
運送事業	82	81	-1 (-2%)
病院事業	41	43	2 (5%)
その他	23	23	-0 (-1%)
連結売上消去	-95	-95	-0 —
売上収益	185	180	-5 (-3%)
営業利益	31	25	-6 (-19%)

<前期比> 売上↓ 営業利益↓

環境事業は、低濃度PCBの単価下落、数量減少により、減収・減益。

運送事業は、売上、利益ともに前年並み。

病院事業は、売上、利益ともに前年並み。

<当初予想比> 売上↑ 営業利益↑

・環境事業の通常廃棄物、医療廃棄物の処理単価上昇等により、利益上振れ。

[当初予想：売上収益 170億円 営業利益 20億円]

(単位:億円)

	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 今回予想	増減
税引前当期利益	204	280	76
減価償却費および償却費	116	115	△1
その他	△34	△156	△122
営業キャッシュフロー	286	239	△46
投資キャッシュフロー	△110	△176	△66
フリーキャッシュフロー	176	64	△112
財務キャッシュフロー	△61	△79	△18
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	13	0	△13
現金及び現金同等物の増減額	128	△16	△144
現金及び現金同等物の期首残高	178	306	128
現金及び現金同等物の期末残高	306	291	△16

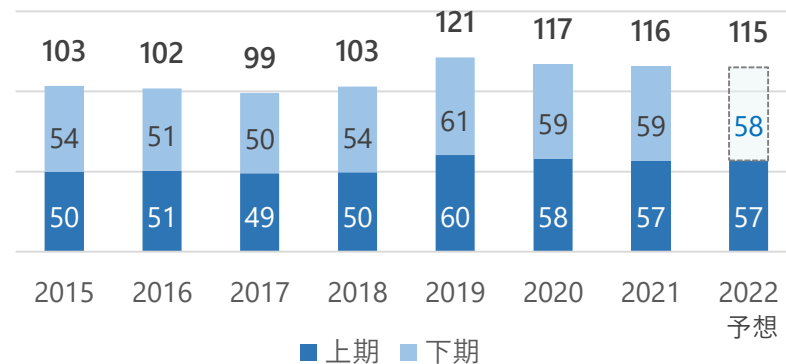
主要指標予想 (1)

(単位：億円)

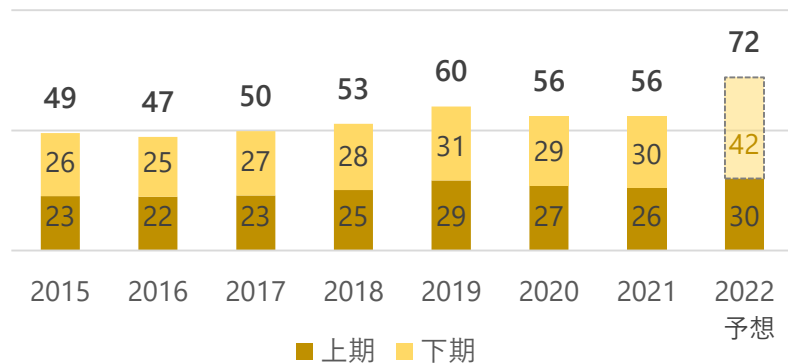
設備投資



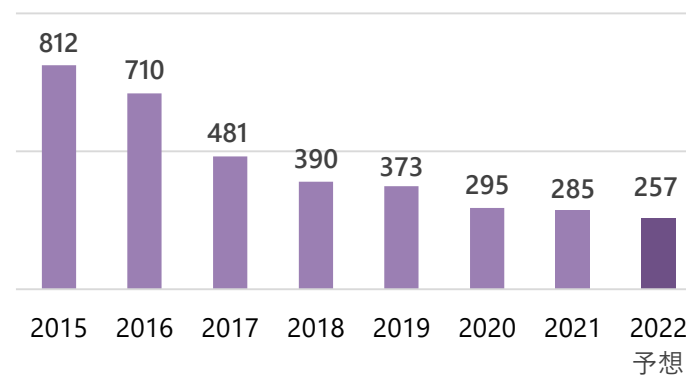
減価償却費



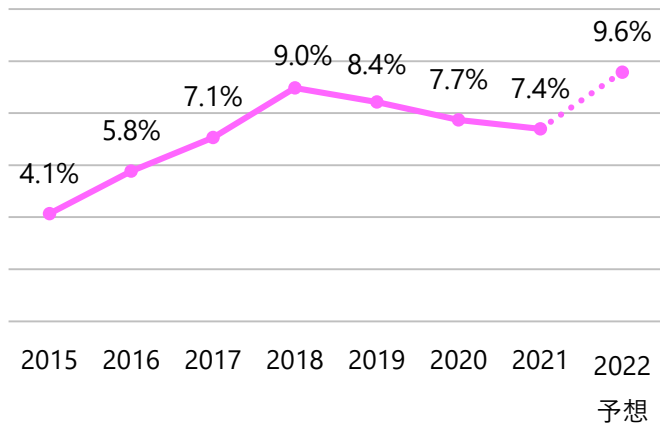
研究開発費



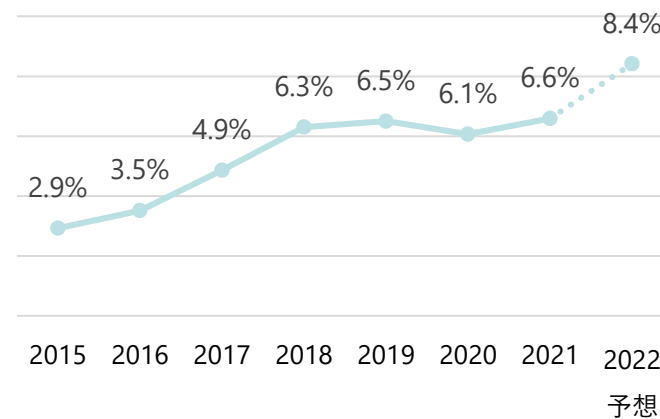
有利子負債



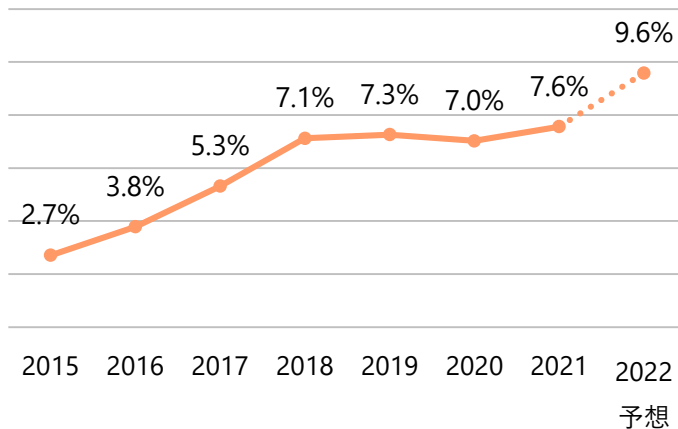
ROE



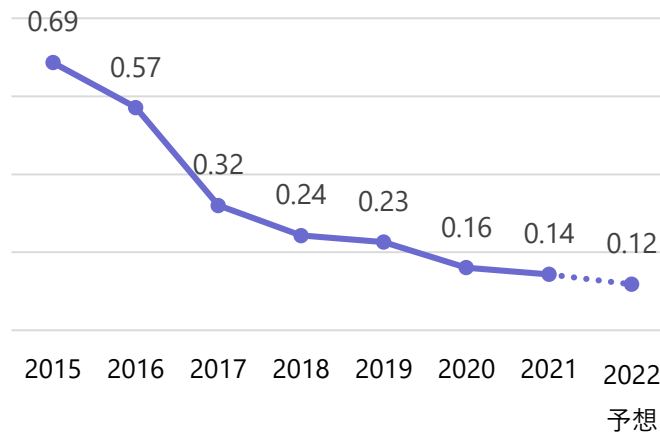
ROIC



ROA



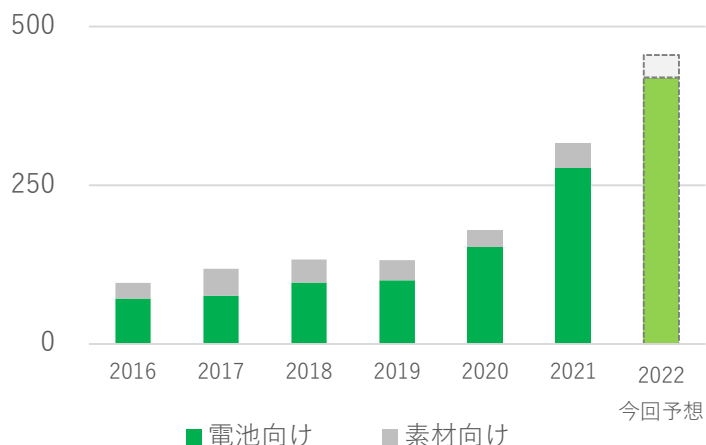
DELシオ



III. 添付資料

<PVDF 売上収益>

(単位：億円)



上期	ロックダウンによる中国・常熟工場休業は発生せず、価格改定と特殊ポリマーの構成比アップにより増収、増益
下期	景気後退により電動車市場拡大の一時的な鈍化を想定売上、利益ともに当初予想並み

事業環境

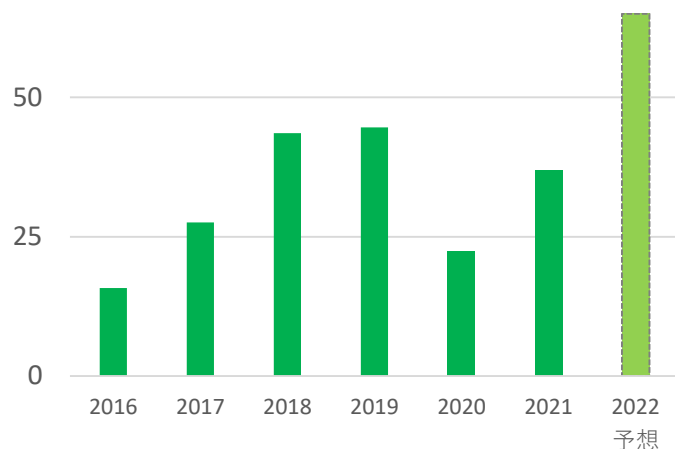
- ・上期は半導体不足や上海ロックダウンの影響はあったものの、車載用LiB向けバインダーの需要は堅調。
- ・電動車販売は前年同期を上回って推移しているものの、インフレや中国、欧州の景気後退により電動車の受注および生産の伸びは、今後、一時的に鈍化すると予想。
- ・中国では、リン酸鉄系LiBのシェアが増加しているが、欧米では三元系電池等の航続距離の長い高性能電池が主流。
- ・韓国大手電池メーカーは、自動車メーカーとの提携、合併により、米国での電池工場建設を積極的に推進。

生産能力増強

- ・いわき工場での、特殊ポリマー増産対策工事は計画通り完工し、前期の第4四半期より商業生産を開始。
- ・中国新工場建設は、コロナ禍や中央政府のエネルギー政策の動向等の理由から、地方政府の審査が遅れている。
- ・いわき工場でのデボトルネックや生産性改善等による大幅増産と最適アロケーションにより、主要顧客の需要に応じた特殊ポリマーの安定供給を図る。

<PGA 売上収益>

(単位：億円)



上期	中・高温域での自社製PGAプラグのフルボア採用（井戸全体の採用）の拡大により大幅増収 円安で樹脂工場の経費が増加
下期	中・高温域での自社製PGAプラグ販売拡大により、売上は上振れ 在庫適正化のため樹脂生産中止

事業環境

- ・緩やかなシール生産の回復は続き22年度の活動量はコロナ禍以前の約9割。
- ・中高温域では、自社製PGAプラグのシェアは2割弱に成長。

黒字化に向けて

- ・フルボア採用によりシェアが拡大する中・高温域だけでも、安定的に黒字化できる事業体制の構築に向けた計画を策定中。
- ・在庫水準の適正化を続け、製造コストの削減と共に、シール用途の研究開発の合理化を予定。

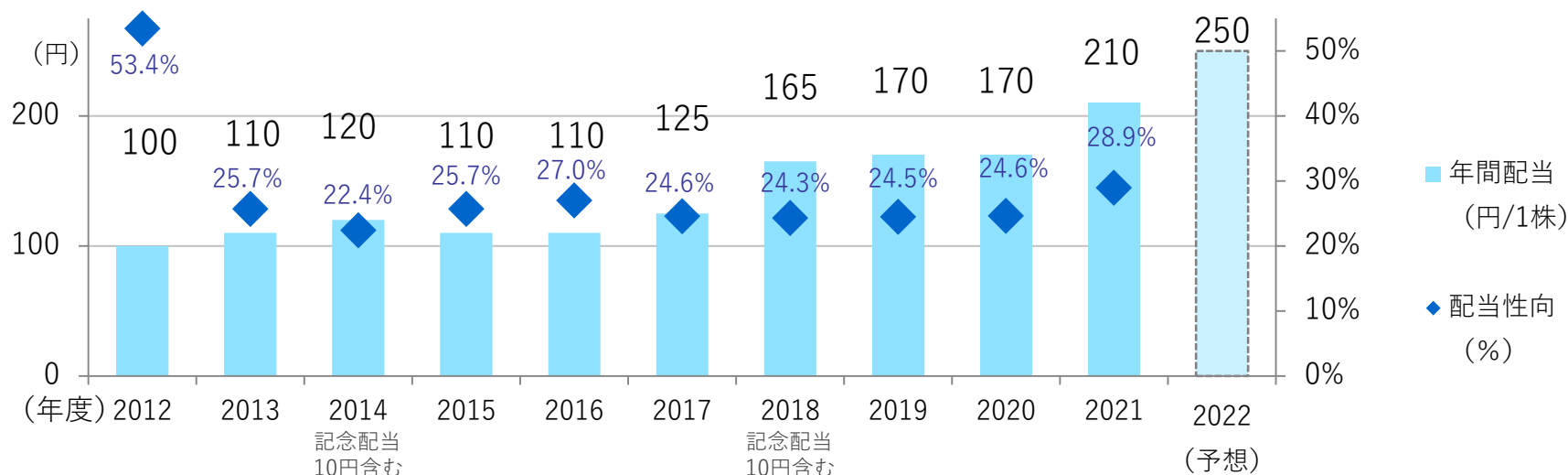
改良品開発

- ・中高温域向けショート化プラグの開発を最優先し、低温・超低温向けの自社製PGAプラグ改良品とともに下期にフィールドテストを実施すべく計画。

- 利益の配分については、中長期的な成長の実現に向け企業体質の強化を図るとともに将来の事業展開に備え、内部留保を充実すること、および、安定的、継続的な配当を実施することを基本方針としています。
- 柔軟な対応が可能な自己株式の取得も選択肢の一つとして検討していきます。
- 23年3月期の期末配当金につきましては、通期業績を踏まえて決定いたします。

年間配当および配当性向の推移

※配当予想据置



2016年10月1日付で普通株式を10株から1株に併合したため、それ以前のものには換算して表示しております。
 2015年度までは日本会計基準、2016年度からはIFRSです。
 2018年度に30億円、2019年度に50億円の自己株取得を行っています。

連結対象会社の概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	22年3月期2Q		23年3月期2Q		増減	
	売上収益	総資産	売上収益	総資産	売上収益	総資産
(株)クレハ	346	2,014	455	2,150	109	136
(株)クレハトレーディング・グループ2社	102	140	123	153	21	14
機能製品						
(株)クレハ	176	-	296	-	121	-
(株)クレハトレーディング・グループ2社	72	-	87	-	15	-
クレハエクストロン(株)	17	42	22	43	4	2
Kureha GmbH	12	9	19	14	7	5
Kureha America Inc.・グループ3社	23	286	40	386	17	100
呉羽(上海)炭繊維材料有限公司	9	14	9	20	0	6
呉羽(中国)投資有限公司・グループ2社	69	137	153	333	84	196
連結調整	-90	-	-152	-	-62	-
計	288	-	473	-	185	-
化学製品						
(株)クレハ	103	-	147	-	44	-
(株)クレハトレーディング	40	-	49	-	8	-
連結調整	-15	-	-21	-	-6	-
計	128	-	175	-	47	-
樹脂製品						
(株)クレハ	140	-	136	-	-4	-
(株)クレハトレーディング	17	-	17	-	0	-
クレハ合繊(株)	29	60	33	69	4	9
呉羽(中国)投資有限公司	2	-	4	-	1	-
Kureha America Inc.	11	13	12	24	1	11
Kureha Europe B.V.・グループ4社	41	69	46	74	5	5
Kureha Vietnam Co.,Ltd.	21	39	24	51	3	12
連結調整	-31	-	-34	-	-3	-
計	229	-	238	-	8	-

連結対象会社の概要 (2)

株式会社クレハ

(単位：億円)

		22年3月期2Q		23年3月期2Q		増減	
		売上収益	総資産	売上収益	総資産	売上収益	総資産
建設関係	クレハ建設(株)・グループ4社	72	109	65	110	-7	1
	(株)クレハエンジニアリング	18	24	22	18	4	-5
	連結調整	-35		-44		-9	-
	計	55		42		-13	-
その他	(株)クレハ環境・グループ2社	60	278	56	286	-3	8
	(株)クレハ分析センター	6	9	6	9	0	1
	クレハ運輸(株)・グループ2社	41	55	41	52	-0	-3
	(株)クレハトレーディング	0		0		0	-
	クレハサービス(株)	4	19	4	16	-0	-3
	クレハスタッフサービス(株)	8	7	8	7	0	0
	社団医療法人呉羽会	20	37	21	39	1	2
	連結調整	-49		-47		2	-
計	90		89		-1	-	
連結合計		791		1,018		227	-
(連結対象子会社+持分法適用会社数)		(30)		(29)※			

※...2022年7月、持分法適用会社「南通匯羽豊新材料有限公司」の全株式を譲渡。



- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。